

和やか鯨城・長谷寺と室生寺参拝バス旅行

実施日：令和3年11月15日（月）

30期 小塩紀夫



コロナ禍を配慮したプラスチック間仕切



懐石料理を美味しくいただきました

年度計画では5月の予定でしたが、この時はコロナ禍による緊急事態宣言で中止になり、待ちに待ったバス旅行がようやく実施されました。

風も無く晴天に恵まれた11月15日に瑞穂区役所前に、男性14名・女性20名の34名の方が集合し、大型バスは8時に発車し東名阪自動車道を経由して10時半には長谷寺門前町の市営駐車場に着きました。

一方通行の参詣道の両側はお店の軒が連なり、道幅が狭く大型バスでは近くまで行けず、料理旅館井谷屋さんの送迎バス2台に分乗して、長谷寺の山門前に到着です。長谷寺は奈良時代の建立で七堂伽藍の古刹は“花の御寺”と言われ、モミジは幾分早か

ったが、ドウダンツツジや、ヤマボウシの見事な紅葉に感嘆しました。

全行程16ヶ所もある参拝ルートは私の足では3分の1程を巡るのがやっとでした。また、登廊(のぼりろう)の両側に綺麗に剪定された牡丹が印象的でした。

本堂には御本尊の十一面観世音菩薩が安置されています。

本堂を参詣した後、寺院の前の井谷屋さんで、皆さんご満悦で懐石料理を美味しくいただきました。

食後再びバスに乗り30分程で室生寺に到着です。女人高野の室生寺は、写真家・土門拳の“雪の杉木立に囲まれた五重の塔”の写真を思い出し、1時間ほどかけて境内

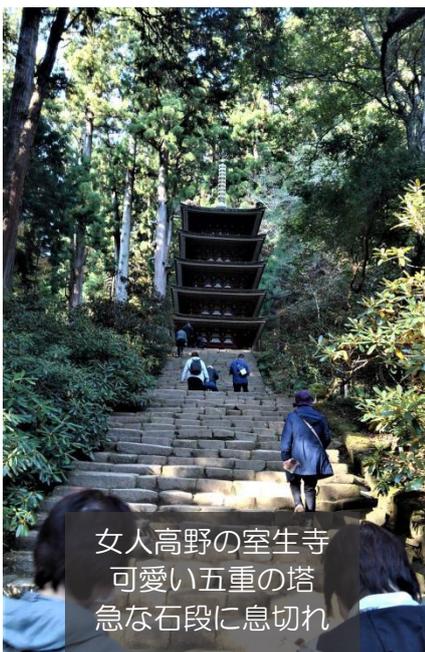
を散策し参拝しました。

健脚な元気な方は奥の院まで行かれましたが、私は五重の塔までの急登の石段で足腰が痛くなり残念ながらダウンです。

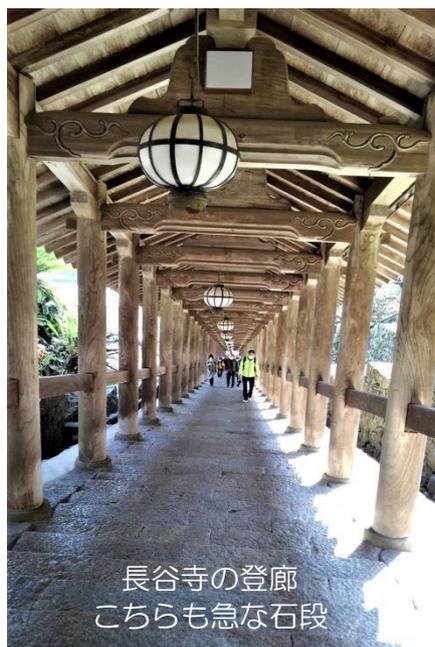
帰りのバスでは気配りの幹事さんの当意即妙の司会進行で、時間を忘れビンゴゲームで盛り上がり、お土産までいただきました。

和やか鯨城の幹事の皆さん楽しい1日をありがとうございました。

(完)



女人高野の室生寺
可愛い五重の塔
急な石段に息切れ



長谷寺の登廊
こちらも急な石段